



## あけましておめでとうございます

新しい一年が、お子様にとって、また保護者の皆様にとって笑顔があふれる年になりますよう、お祈り申し上げます。  
 本年も保護者の皆様のご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。

## 冬に流行する感染症

### インフルエンザ

#### 症状

突然に高熱(38~40℃)が出て、3~4日間続きます。倦怠感や食欲不振、関節痛、筋肉痛などの全身症状や咽頭痛、鼻水、せきなどをともないます。通常1週間程度で症状は回復しますが、中には、気管支炎、肺炎、中耳炎、熱性けいれん、急性脳症などの合併症を引き起こす場合があります。

#### 家庭での留意点

脱水症状を防ぐために、十分に水分補給をし、安静にすることが大切です。また、冬は空気が乾燥しているため、加湿器などを使って湿度を調節します。  
 インフルエンザに感染後の登園の目安は、幼児の場合、発症から5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過してからです。それまでは登園停止となります。

### ウイルス性胃腸炎(ノロウイルス感染症)

#### 症状

ノロウイルスに感染することで発症します。おもな症状は、嘔吐と下痢です。脱水を併発することがあります。多くの場合は、1~3日程度で治癒します。  
 感染力が強いため、手洗いの徹底などで予防を心がけます。

#### 家庭での留意点

嘔吐の強い場合は、絶食して水分を少量ずつ与えます。下痢がひどい時期には、乳幼児用のイオン飲料などを与えます。  
 感染した場合、便や嘔吐物に多量のウイルス

が含まれているので、便や嘔吐物の処理など際には注意が必要です。嘔吐物を処理する際には、使い捨てのマスク、手袋、エプロンを着用します。嘔吐物は外側から内側に向かって拭き取り、嘔吐した場所は消毒液で消毒します。また、嘔吐を処理した後は、使い捨てのエプロン、マスク、袋、雑巾、ペーパータオルをビニール袋に密封して捨てます。最後に手洗いをを行います。



登園の目安は、嘔吐、下痢の症状が治まり、普段の食事がとれるようになってからです。

### RSウイルス感染症

#### 症状

呼吸器感染症で、乳幼児期に初感染した場合の症状が重くなります。特に生後6か月未満の乳児では重症な呼吸器症状が出て、入院が必要になる場合も少なくありません。2歳以上で、2度目、3度目に感染した場合は、徐々に症状が軽くなり、軽いせきや鼻汁程度しか見られません。通常、おとなが感

染した場合には、鼻炎程度の軽いかぜ症状が見られます。

#### 家庭での留意点

生後6か月未満の子どもの感染すると症状が重くなるため、きょうだいやおとなが感染源にならないように注意が必要です。そのため、家族内で、せきなどの呼吸器の症状が見られる場合には、せきエチケットと手洗いを心がけるほか、接触を控える方がよいでしょう。



## 今月のわらい



つくし

- ・生活リズムを整え、安心して健康に過ごす。
- ・冬の自然に親しみ、からだを十分に動かしてあそぶ。



れんげ

- ・一人ひとりの子どもの体調に留意し、寒い時期を健康に過ごせるようにする。
- ・雪や氷に触れるなど、冬の自然に親しむ。



たんぽぽ

- ・生活のリズムを整えながら見通しを持って生活し、身の回りのことを自分でしようとする。
- ・保育教諭や友だちと簡単なルール遊びや季節の遊びを楽しむ。



にじ

#### 【3歳児】

- ・冬の生活に必要なことを自分でしようとする。
- ・正月あそびや伝承あそびに興味をもち、保育教諭や友だちと一緒に楽しむ。

#### 【4歳児】

- ・冬の生活に必要な習慣を身につけ、健康で快適に過ごせるようにする。
- ・思いや考えを出し合いながら、仲間と一緒に存分に楽しんで遊ぶ。

#### 【5歳児】

- ・冬の生活の仕方に関心をもち、自ら気づいて健康的に過ごす。
- ・自分の目標に向かって、挑戦し、充実感を味わう。



ほし



## 行事予定



月	火	水	木	金	土
1 元旦	2 年始の休日	3 年始の休日	4	5	6
8 成人の日	9	10 避難訓練 ほし組身体測定	11 鏡開き お弁当日 にじ組身体測定	12 れんげ組 身体測定	13
15	16 たんぽぽ組 身体測定	17 つくし組 身体測定	18	19 誕生会	20
22	23	24	25	26	27 第4土曜日 15:00
29	30	31 第1回合同練習 9:30~ (3.4.5歳児クラス)			